

校長室より

令和 3年 3月23日
校長 植野 博之



桜の花が、咲き、別れと出会いの季節となりました。

みはま支援学校でも卒業式が行われました。

3月2日(火)2学部(高等部通学生)の卒業式、3月16日(火)1学部(小、中、高等部和歌山病院入院児童生徒)卒業式 及び 2学部(小、中学部通学生)卒業式が、新型コロナ対策の中実施できました。

3月2日(火)の卒業式では、2学部(高等部通学生)6人が、緊張しながらも、それぞれの進路(大学 専門学校 就職 福祉事業所等)へ向けて、夢や希望を持ち、巣立って行きました。後輩からも大変慕われる先輩達で、様々な授業、文化祭などの行事で後輩達をリードしてくれました。

「先輩がいなくなってさみしい」といつまでも別れを惜んでいる後輩達を見ていると、いつも温かい想いや言葉をかけてきた卒業生の姿が感じられました。



3月16日(火)、2学部(小学部中学部通学生)卒業式も、体育館で実施しました。小学部から中学部へ、中学部から高等部また違う高校へと進学する生徒もいます。

不安や心配なこともあると思いますが、新しいそれぞれの環境で自分の夢を広げるためにチャレンジしてください。



3月16日(火)1学部(小、中、高等部和歌山病院入院児童生徒)の卒業式は、各病棟毎に実施しました。小学部1名、中学部1名、高等部2名が卒業しました。体調を崩したこともあったり、環境の変化が大きく変わった児童生徒もいましたが、何より健康に元気に卒業できたこと嬉しく思います。オンラインで家庭と卒業式の式場を繋いで保護者にもライブ映像で参加していただくことができました。

今日まで支えていただいた保護者や関係者の皆様にお祝い申し上げます。ご卒業おめでとうございます。

